



ウィリアム・モリスと夏目漱石、それから宮沢賢治

—「仙台・羅須地人協会」1周年と「賢治とモリスの館」10周年記念会—



宮沢賢治は、1926年に花巻農学校の教職を辞し、『農民芸術概論大綱』を著すとともに私塾「羅須地人協会」を開設して農民芸術運動を展開しました。もっとも、その理念にアーツ&クラフツ運動の担い手として知られるウィリアム・モリスの思想が反映されていたことは、あまり知られていません。

そして、夏目漱石は、ロンドン留学時代(1900~1902年)にW.モリスに関心を懐き、その著述を日本に持ち帰りました。それが現在は東北大学図書館に「漱石文庫」として所蔵されていることも、また、あまり知られていません。

本記念会では、モリス、漱石、賢治に通底する文学的・思想的系譜を詳らかにしたいと思います。

■日時 2015年2月15日(日)
13時00分~16時30分(会場12時30分)

■会場 仙台文学館

プログラム

- 開会挨拶 半田正樹(東北学院大学教授)
 - 記念講演 大内秀明(仙台・羅須地人協会代表、東北大学名誉教授)
「ウィリアム・モリスと夏目漱石、それから宮沢賢治」
 - 舞台朗読 NPO 法人シニアネット仙台「朗読教室」
宮沢賢治作「狼森と策森、盗森」
 - パネルディスカッション「モリス、漱石、賢治をめぐる」
パネリスト 木戸浦豊和(東北大学総務課図書係、漱石研究者)
牛崎敏哉(宮沢賢治記念館副館長、賢治研究者)
吉村典子(宮城学院女子大学教授、モリス研究者)
- 司会 田中史郎(宮城学院女子大学教授)

■主催 仙台・羅須地人協会
■後援 河北新報社
■協力 NPO 法人シニアネット仙台「朗読教室」

■入場 150名 **無料**



問合せ: 仙台・羅須地人協会

Tel & Fax 022-797-0162 / 携帯 090-1936-2868 (今野)、080-2815-3007 (大江)
URL www9.ocn.ne.jp/~kenji827/ E-mail s-rasuchi.jin@aqu.aqua.ocn.ne.jp